

指定製品等に係るラベリング制度の 検討状況について

平成26年12月19日

一般社団法人日本冷凍空調工業会

ラベリング制度の概要

○指定製品の判断の基準に基づく法定表示を補完し、また、指定製品等の購入者が直感的に低GWP・ノンフロン製品を選択できるような分かりやすい表示として、多段階表示を利用したJISによるラベリング制度を検討中。

ラベリング制度の対象製品

- 全ての指定製品を対象
- また、コンデンシングユニットに接続される冷凍冷蔵ショーケースなどの関連製品への使用も可能とする

ラベリングの使用場所

- 商品選択の際に活用されるものであることから、当該製品が掲載されたカタログ（当該製品の製造業者等のホームページに掲載される電子カタログの他、カタログ通販やインターネット販売で用いる場合も含む）
- また、商品選択時の実態を踏まえ、製品それ自体や梱包材など

JISによるラベリング制度の検討体制

○JISの検討に際しては、産構審フロン類等対策WGの飛原座長を委員長とした、以下の委員により、検討を行っており、現在までに委員会を2回開催した。

「フロン類使用製品の環境影響度等に関する基準達成度の表示方法」に関する JIS原案作成委員会委員名簿

(委員長)飛原 英治	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
加藤木 健一郎	一般社団法人日本冷凍空調工業会 環境企画委員会
西本 猛史	一般社団法人日本冷凍空調工業会 環境企画委員会
田中 智	一般社団法人日本電機工業会家電部長
小竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会 環境統括部長
宮本 貴司	ウレタンフォーム工業会断熱材小委員会委員長
後藤 清二	一般社団法人日本エアゾール協会 技術委員
金丸 治子	日本チェーンストア協会
島原 康浩	新日本スーパーマーケット協会
河西 詞朗	一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会 業務担当部長
加藤 敏	大手家電流通協会
石原 和典	グローリー株式会社保守本部 保守事業統括部グループマネージャー
橘谷 幸夫	一般社団法人日本ウレタン断熱協会専務理事
野尻 雅人	一般財団法人省エネルギーセンター 人材育成事業部長
大芦 誠	一般財団法人規格協会企画開発グループ
大木 雅文	経済産業省オゾン層保護等推進室室長

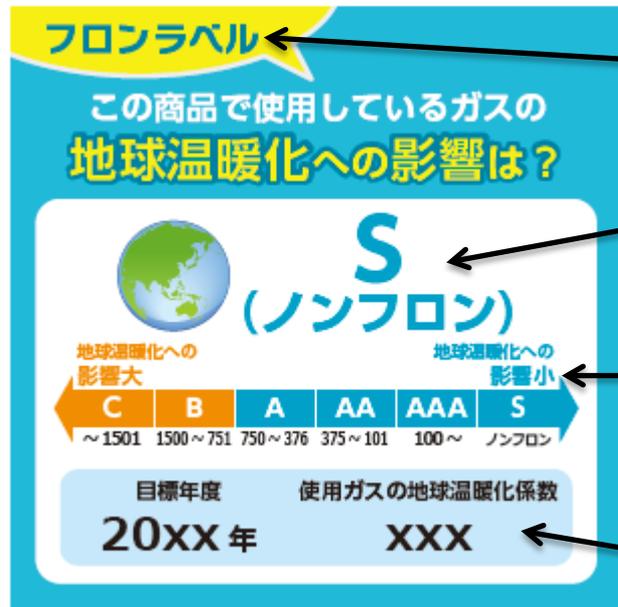
【委員会開催実績】

- 平成26年8月11日 第1回分科会開催(機器製造者等による検討)
- 平成26年9月29日 第1回委員会開催
- 平成26年11月12日 第2回分科会開催(機器製造者等による検討)
- 平成26年12月3日 第2回委員会開催

第2回委員会を踏まえたラベリング案

【フルセット版のデザイン】

カタログ等で表示する基本のラベリングデザイン。

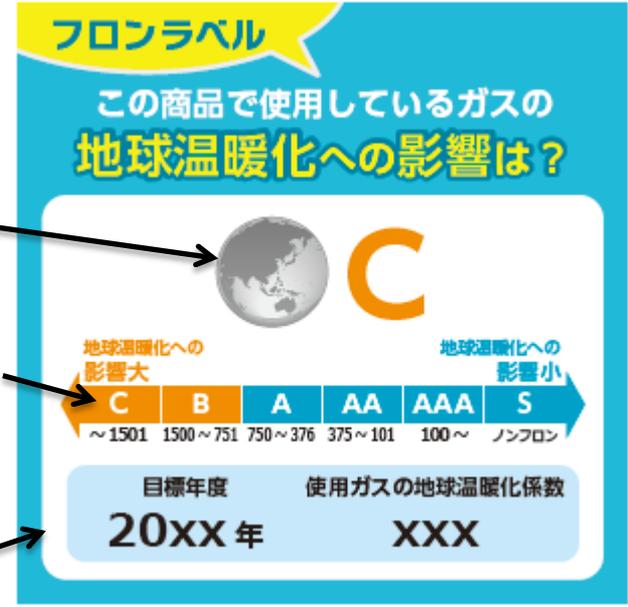


名称は「フロントラベル」とする

該当する段階を表示
色を変えることで目標値を超えているか否か分かるようにデザイン

当該製品の設定段階数
当該製品の多段階設定を表示することで、当該製品の位置づけが分かるようにデザイン

目標年度・当該製品に使用されるガスのGWP値を表示



【簡易版のデザイン】

表示場所が限られている場合などに使用する簡易版のデザイン。該当する段階のみを表示

※上記デザインはカラー版であり、モノクロ版も別途作成。

指定製品ごとの段階設定

- 指定製品ごとの冷媒転換の候補、環境影響度の低減のインセンティブを与えることなどを考慮し、以下のとおり表示する段階を設定。
- 目標値を基準として、目標値を超えるものは「A」を表示し、以降、よりよいものを「AA」、「AAA」とする。
- ノンフロン製品の場合は、フロンを使用した製品と区別するため、最も高い段階として「S（ノンフロン）」と表示する。

○家庭用エアコン、店舗・オフィス用エアコン

目標値	目標年度	表示区分				
750	2018年度(家庭用) 2020年度(店舗・オフィス用)	B 751以上	A 750~376	AA 375~101	AAA 100以下	S (ノンフロン)

○コンデンスユニット及び定置式冷凍冷蔵ユニット

目標値	目標年度	表示区分					
1500	2025年度	C 3001以上	B 3000~1501	A 1500~1001	AA 1000~101	AAA 100以下	S (ノンフロン)

○中央方式冷凍冷蔵機器

目標値	目標年度	表示区分			
100	2019年度	C 3001以上	B 3000~101	A 100以下	S (ノンフロン)

○硬質ウレタンフォームを用いた断熱剤

目標値	目標年度	表示区分		
100	2020年度	B 101以上	A 100以下	S (ノンフロン)

○自動車用エアコン

目標値	目標年度	表示区分			
150	2023年度	B 151以上	A 150~101	AA 100以下	S (ノンフロン)

○ダストブロー

目標値	目標年度	表示区分		
10	2019年度	B 11以上	A 10以下	S (ノンフロン)

※「ノンフロン」は、第4回中環審・産構審合同会合での審議結果と整合し、フロン排出抑制法第2条1項に定めるフロン類以外の物質をいう。

今後の予定

本日	産構審フロン類等対策WG第7回
平成27年1月	第3回委員会
2月	日本工業標準調査会に対してJIS原案の提出
4月～5月	WTO/TBT通報
早ければ夏頃	日本工業標準調査会からの答申 JIS公示